



# KONISHI REPORT

.....

## 第91期 株主通信

第2四半期累計期間

平成27年4月1日～平成27年9月30日

.....

 **コニシ株式会社**

証券コード:4956



## 新中期経営計画の達成に向け、 重点施策を着実に実行してまいります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策や日銀の金融緩和を背景とした企業収益や雇用情勢が改善に向かっており、緩やかな景気の回復基調が継続しております。しかしながら、中国経済の減速懸念や、アジア新興国における経済成長の減速などの経営環境に影響を与えるリスクは依然として存在しております。

当社グループの関連業界では、住宅業界におきましては消費税増税の影響による住宅着工戸数減少からの回復が本格化する兆しがあります。土木建築業界におきましても都市部を中心に建築物の補修・改修工事の需要が引き続き高まっております。しかしながら、自動車業界においては海外、国内ともに低調に推移し

ております。電子・電機業界におきましても、業界を牽引しているスマートフォンの需要が継続しておりますが陰りも見え始め、自動車業界とともに先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高563億73百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益26億26百万円(前年同四半期比12.3%増)、経常利益26億82百万円(前年同四半期比17.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億34百万円(前年同四半期比9.5%増)となりました。

さて当社は、2015年9月25日におかげをもちまして株式会社設立90周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様からのご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。また、5年後の2020年には創業150年を迎えることとなります。そこで、当社グループは今後のさらなる発展を目指し、今期より新たな中期

経営計画をスタートさせました。ボンド事業部門においては、コア事業と位置づける汎用、住宅関連、建設関連分野で販売の拡大、次の柱となる土木、産業資材分野および海外への積極展開を図ってまいります。化成品事業部門においては部門、国内外を問わず、成長する分野、地域に照準を合わせ、コア事業での販売を拡大するとともに、新規商材、新規顧客の開拓を図り商品の高付加価値化と海外への進出を実現できる体制の構築を目指してまいります。また、関連会社3社を中心に展開する工事請負事業をボンド、化成品に次ぐ事業部門へと育成すべく事業展開をしていきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 よこ た たかし  
**横田 隆**

# 第2四半期累計期間 連結財務ハイライト

(2015年4月1日～2015年9月30日)

個別財務ハイライトについてはP.8をご覧ください ▶▶▶

## 売上高

**56,373** 百万円  
前年同四半期比 **3.1%増** ▲



## 営業利益

**2,626** 百万円  
前年同四半期比 **12.3%増** ▲



## 経常利益

**2,682** 百万円  
前年同四半期比 **17.3%増** ▲



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

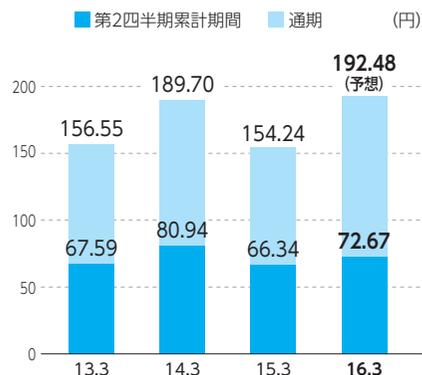
**1,434** 百万円  
前年同四半期比 **9.5%増** ▲



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、前連結会計年度までの科目名も統一しております。

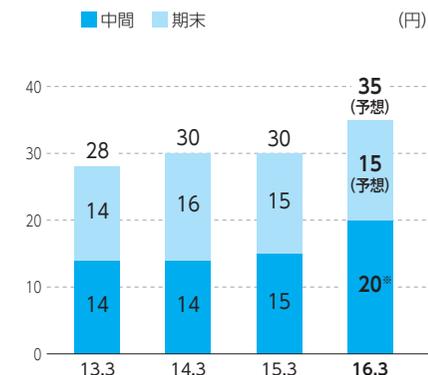
## 1株当たり四半期(当期)純利益

**72.67** 円



## 1株当たり中間(期末)配当金

**20** 円



※普通配当 15円  
株式会社設立90周年記念配当 5円

## ポイント解説

- 住宅関連・一般家庭用市場を中心に消費税増税による停滞からの回復が鮮明となりました。
- インフラおよびストック市場での補修・改修・補強工事需要が旺盛で、ボンド事業部門における土木建築関連商材や、その他事業部門での工事請負事業が大きく売上を伸ばしました。
- 営業利益は、生産・物流体制強化のための投資に伴う減価償却費の増加などがありましたが、売上伸長により補完いたしました。また、原材料コストの下落が利益を押し上げました。

# セグメント別の状況

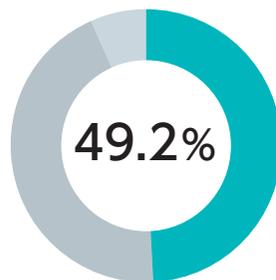
## ボンド事業部門

### 事業内容

「ボンド」ブランドの接着剤、シーリング材、工業用テープ、離型剤、ワックスなどを製造するメーカーとしての活動を行っています。ボンド事業部門が関わる分野は、住まいの内装工事に使用される住宅関連分野、ビル・マンション、橋・トンネルなどを直す際に使用される土木建築関連分野、工場の生産ラインで使用される産業資材関連分野、工作・DIYで使用される一般家庭用関連分野など多岐にわたります。浦和と大阪に研究開発拠点を備え、製品の開発・改良を行っています。生産拠点は滋賀工場・栃木工場・浦和工場の3拠点です。また、滋賀と栃木には自社で物流センターを構え、スピーディーな出荷とお客様へのサービス向上を目指し運営しています。



売上高構成比



売上高 **27,754** 百万円

前年同四半期比 **+2.8%**

営業利益 **2,179** 百万円

前年同四半期比 **+7.4%**

## 当第2四半期連結累計期間の概況

### 住宅関連

消費税増税の影響による住宅着工戸数減少からの回復が見受けられ、内装工事用接着剤などを中心に売上を伸ばしました。

### 産業資材関連

紙関連用途向け水性接着剤、パネル用途向けのウレタン系接着剤は順調に売上を伸ばしました。一方、自動車用離型剤・シール材は前年同四半期実績を下回りました。



### 土木建築関連

ビル、マンションなどの建築物や、道路、鉄道、トンネル、橋梁などのインフラ市場でのリニューアル工事が多く発注され、補修材、建築用シーリング材の需要が堅調に推移し、大きく売上を伸ばしました。

### 一般家庭用関連

テレビコマーシャルの宣伝効果により手芸関連製品が大きく売上を伸ばしました。また、100円均一ショップルートでも取扱いアイテムが増えており、売上が伸びました。



## セグメント構成

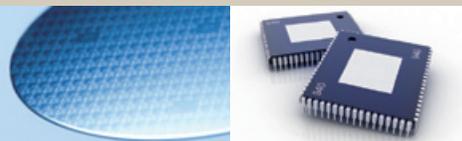
コニシ(株) ボンド営業本部  
水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド販売(株) ボンド物流(株)  
矢沢化学工業(株) サンライズ・エム・エス・アイ(株)  
科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司  
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ)  
Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム)



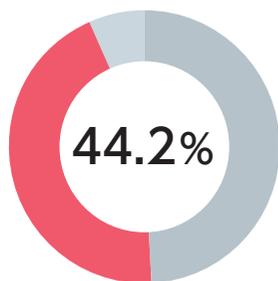
## 化成品事業部門

### 事業内容

企業間を結ぶ化学品専門商社として、メーカーから原料を仕入れて、ユーザーに販売するといった活動を行っています。化学品、塗料、電子電機、自動車、生活資材などの分野を中心に、中国、台湾、タイ、インド、インドネシアの海外拠点とも連携を図りお客様のニーズにお応えしています。



売上高構成比



売上高 **24,924** 百万円

前年同四半期比 **+2.6%**

営業利益 **280** 百万円

前年同四半期比 **+21.3%**

## 当第2四半期連結累計期間の概況

### 化学工業および電子・電機業界向け

今期より納入が開始された大型案件へのプラスチック原料、記憶媒体用樹脂ならびにスマートフォン向け電子部材の出荷が順調に推移し、売上を伸ばしました。

### 自動車業界向け

自動車生産が国内、海外ともに低調に推移しており、売上は前年同四半期を大きく下回りました。

### 塗料業界向け

飲料缶コーティング用塗料や自動車補修用塗料の需要回復が遅れており、低調に推移しました。

## セグメント構成

コニシ(株) 化成品営業本部  
丸安産業(株) 科昵西貿易(上海)有限公司 PT.KONISHI INDONESIA(インドネシア)  
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) KF Instruments India Pvt. Ltd.(インド)  
台湾丸安股份有限公司

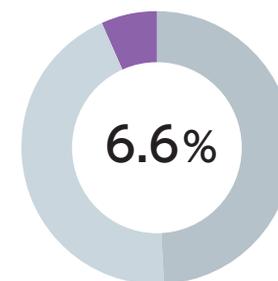
## その他

### 事業内容

高速道路や鉄道、学校や病院などの補修・補強や耐震化工事を請け負い、現場の施工管理を行う工事請負事業および橋梁・高速道路の工事における新設上部床板工事業を主たる事業として行っています。



売上高構成比



売上高 **3,694** 百万円

前年同四半期比 **+8.5%**

営業利益 **173** 百万円

前年同四半期比 **+112.5%**

## 当第2四半期連結累計期間の概況

### 工事請負事業(土木建設工事業)

インフラおよびストック市場における補修・改修・補強工事が堅調に推移しており、受注が確定している物件も多い状況です。但し、作業員の不足により進捗が遅れている物件も見られ始めています。ほとんどの物件において完工は第3四半期以降となります。

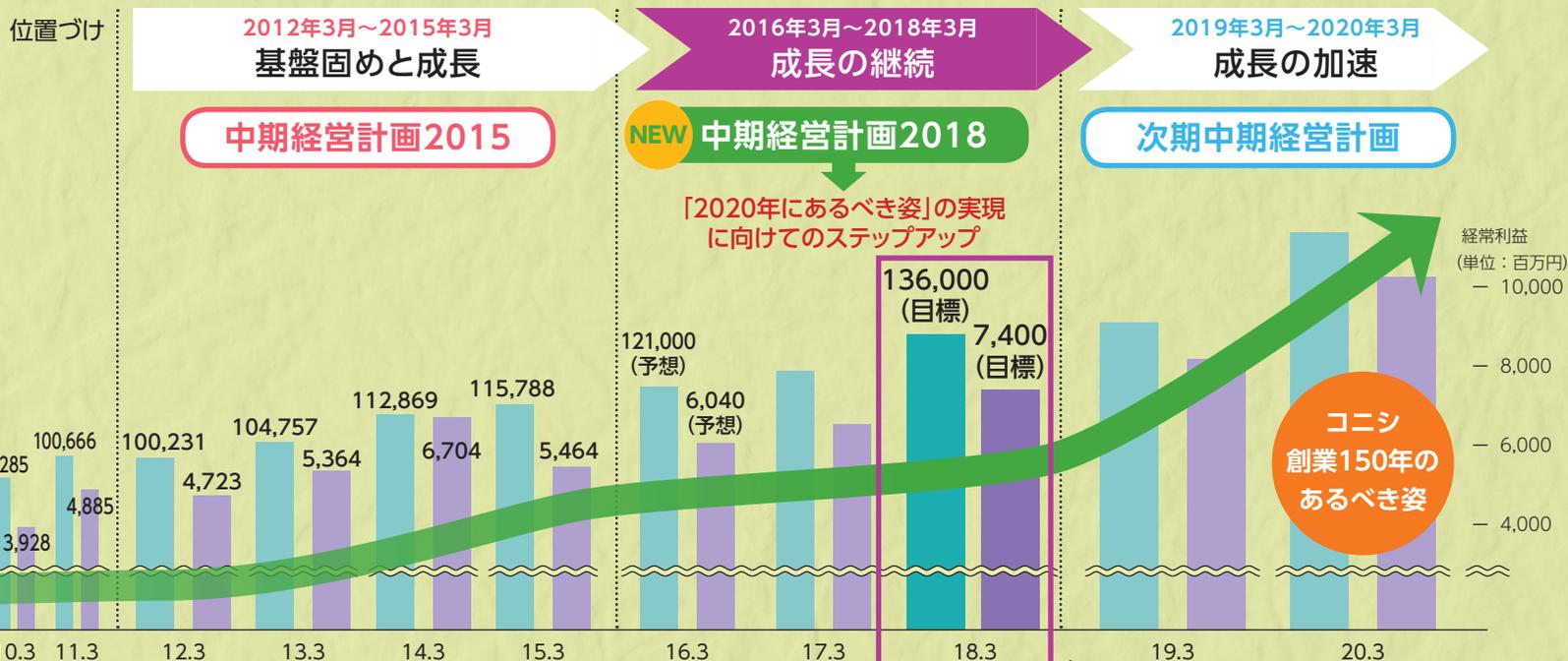
## セグメント構成

コニシ(株) 不動産部門  
ボンドエンジニアリング(株) 日本ケミカルデータベース(株)  
近畿鉄筋コンクリート(株) コニシ工営(株)

# 新中期 経営計画 2018 を策定

## 「2020年にあるべき姿」の実現に向けてのステップアップ

コニシは2018年3月期を最終年度とする、新たな3カ年中期経営計画を策定しました。「事業拡大による成長戦略」を始めとする重点施策を掲げ、最終年度の2018年3月期には売上高1,360億円、経常利益74億円、経常利益率5.4%の達成を目標としています。



### コニシグループ業績目標

2018年3月期に売上高・経常利益ともに、過去最高を目指す

	2015年3月期	2018年3月期 (2015年3月期比)
売上高 (百万円)	115,788	136,000 (+17.5%)
経常利益 (百万円)	5,464	7,400 (+35.4%)
経常利益率 (%)	4.7%	5.4%
ROE (%) (自己資本当期純利益率)	6.7%	8.0%

### セグメント別

ボンド	65,000 百万円 (+15.6%)
化成品	59,000 百万円 (+20.0%)
その他	12,000 百万円 (+15.5%)

売上高 コニシグループ  
136,000 百万円



経常利益 コニシグループ  
7,400 百万円



# 新中期経営計画2018の5つの重点施策

## 1

### 事業拡大による成長戦略

●2020年の東京オリンピック開催に向けてインフラの改修・補修工事が加速すると見られる土木分野と、道路、鉄道、トンネル、橋梁などの老朽化対策での需要が拡大していく分野において、接着剤・工法の販売拡大を目指す。さらには、工事請負事業（土木建設工事業）の拡大も視野に活動を展開する。



●前中期経営計画で大幅に未達に終わった化成品事業において、「売るものを増やす」「売り先を増やす」という商社業の原点に立ち返り、新規商材、顧客の開拓を行う。また、商品の高付加価値化を目指し、加工業などへの進出やM&Aも視野に入れていく。

## 2

### コア事業での販売拡大

汎用、住宅関連、建設関連といったコア事業を拡充させることはもとより、それらの周辺領域（紙・インテリア業界・ホビー業界・電子電機業界・建築資材関連・外壁タイル）への深耕を進め、各分野でのトップランナーを目指す。



## 3

### コニシグループ全体での事業拡大

新規連結子会社（矢沢化学工業・近畿鉄筋コンクリート）との連携を図り、新規業界への参入および市場拡大を目指す。また、相乗効果があると思われる企業へM&Aを積極的に実施し、事業拡大を図る。



## 4

### アジア市場への展開

中国・東南アジア地域を中心に事業拡大を図り、海外売上高100億円、早期に海外売上高比率10%を目指す。



## 5

### 生産・物流体制の強化による利益の創出

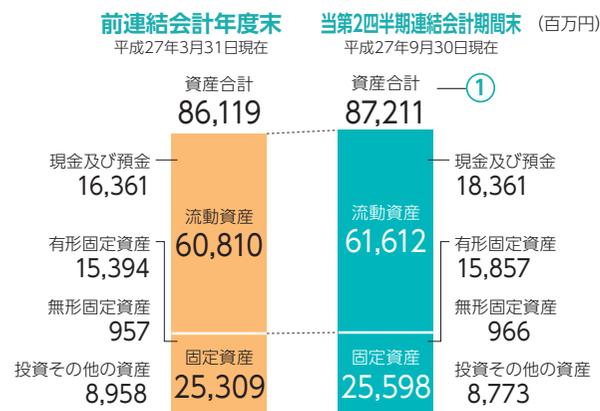
前中期経営計画で大きく投資を行ってきた生産・物流設備を本格稼働させ、生産・物流部門での利益創出を目指す。また、充実した物流体制（栃木・滋賀）について、関係会社も含めたコニシグループでの活用を行い、コスト削減を図る。



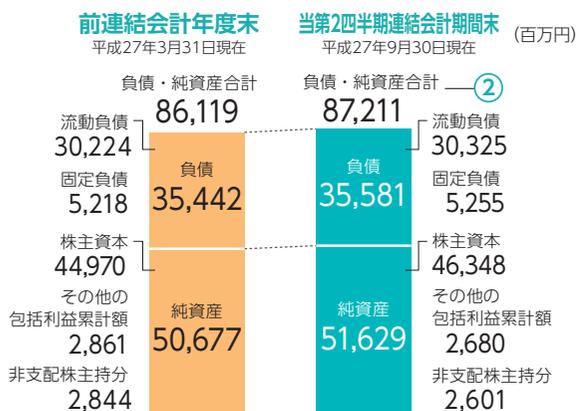
# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

### 資産の部



### 負債・純資産の部



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としており、前連結会計年度についても科目名を統一しております。

### ポイント① 資産

資産は、受取手形及び売掛金が15億90百万円、有価証券が4億39百万円、投資有価証券が2億42百万円減少したものの、現金及び預金が19億99百万円、未成工事支出金が5億80百万円、有形固定資産が4億63百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ10億91百万円増加しました。

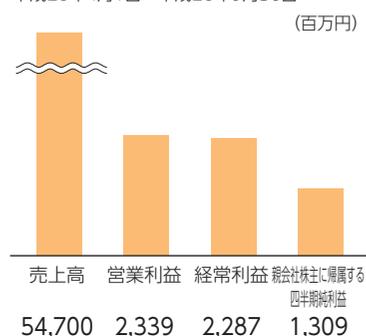
### ポイント② 負債・純資産

負債は、流動負債が1億1百万円、固定負債が37百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1億38百万円増加しました。純資産は、利益剰余金が11億38百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ9億52百万円増加しました。

## ■ 連結損益計算書

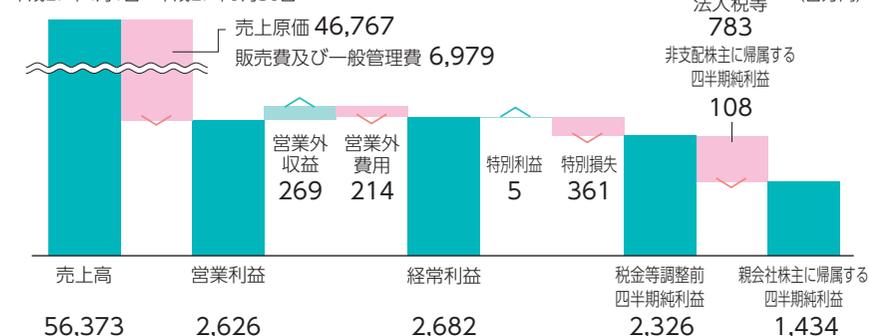
### 前第2四半期連結累計期間

平成26年4月1日～平成26年9月30日



### 当第2四半期連結累計期間

平成27年4月1日～平成27年9月30日

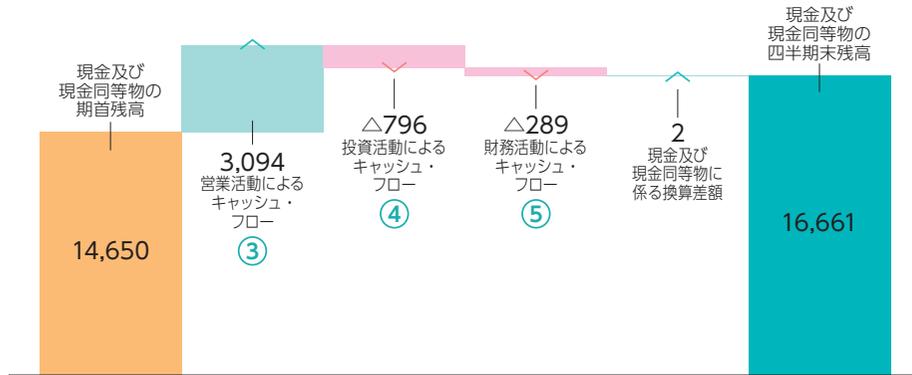


※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「少数株主利益」を「非支配株主に帰属する四半期純利益」に、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としており、前第2四半期連結累計期間についても科目名を統一しております。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結累計期間  
平成27年4月1日～平成27年9月30日

(百万円)



### ポイント③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、法人税等の支払額が7億62百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が23億26百万円、売上債権の減少額が16億10百万円あったこと等により、30億94百万円となりました。

### ポイント④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

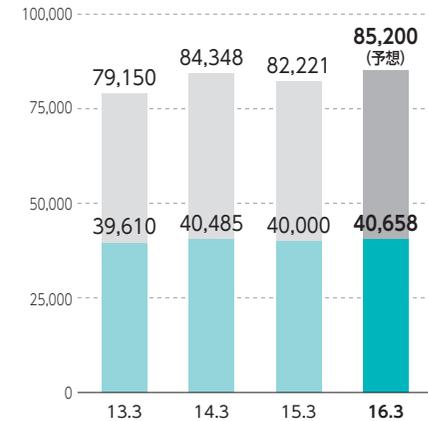
投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が10億8百万円あったこと等により、7億96百万円となりました。

### ポイント⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払額が2億96百万円あったこと等により、2億89百万円となりました。

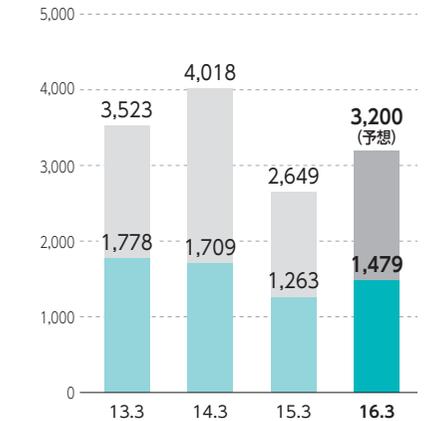
## 売上高

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (百万円)



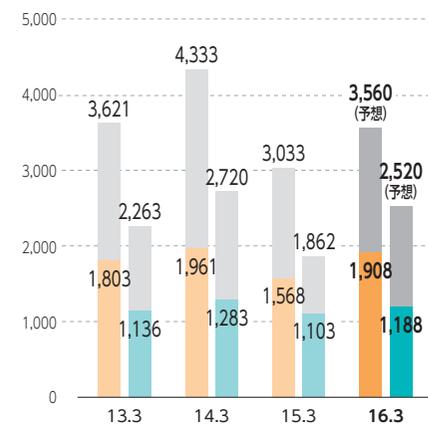
## 営業利益

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (百万円)



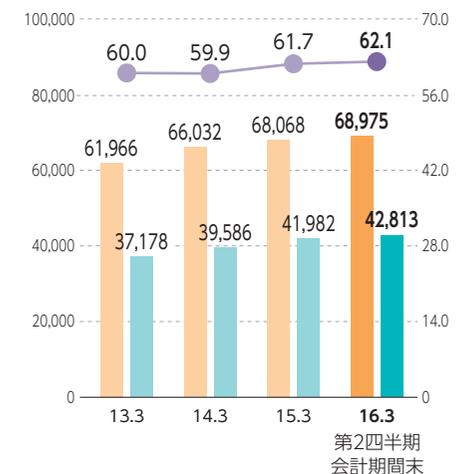
## 経常利益・四半期(当期)純利益

■ 経常利益 ■ 第2四半期累計期間 ■ 通期  
■ 四半期(当期)純利益 ■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (百万円)



## 総資産・純資産・自己資本比率

■ 総資産 ■ 純資産 ■ 自己資本比率 (百万円・%)



# 会社概要

## 会社概要

(平成27年9月30日現在)

**設立** 1925年(大正14年)9月25日  
**資本金** 46億3百万円  
**従業員数** 連結1,200名、単独717名  
**証券コード** 4956  
**事業所**  
 本店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号  
 大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号  
 北浜TNKビル  
 東京本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目3番地  
 竹橋スクエア  
**支店** 名古屋、福岡、横浜、札幌  
**営業所** 仙台、栃木、高崎、金沢、広島、高松、沖縄  
**製造拠点** 栃木工場、浦和工場、滋賀工場  
**研究所** 浦和研究所、基礎研究所、大阪研究所  
**物流拠点** 栃木物流センター、滋賀物流センター

## 役員

(平成27年9月30日現在)

取締役会長兼 ユニグループ代表	大丸 智夫	常勤監査役	東郷 正人
代表取締役社長	横田 隆	監査役	竹内 鈴子
取締役	小西 哲夫	監査役	狩野 仁
取締役常務執行役員	日下部 悟	執行役員	野田 昌治
取締役執行役員	須藤 孝也	執行役員	松端 博文
取締役執行役員	有澤 彰三	執行役員	大山 啓一
取締役執行役員	井上 孝一郎	執行役員	中村 耕一
社外取締役	高瀬 桂子	執行役員	巖 利彦
		執行役員	吉川 洋明



# 株式の状況

## 株式の状況

(平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,400,000株
発行済株式の総数	20,353,720株
1単元の株式数	100株
株主数	4,902名

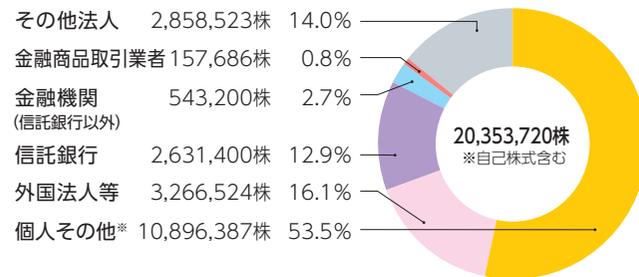
### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
コニシ共栄会	1,140,300	5.77
小西哲夫	1,052,400	5.33
小西啓二	919,048	4.65
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	673,800	3.41
小西千代子	410,424	2.07
GOLDMAN,SACHS&CO.REG	401,800	2.03
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	385,400	1.95
コニシ従業員持株会	361,328	1.83
株式会社三菱東京UFJ銀行	352,000	1.78
井上道子	345,000	1.74

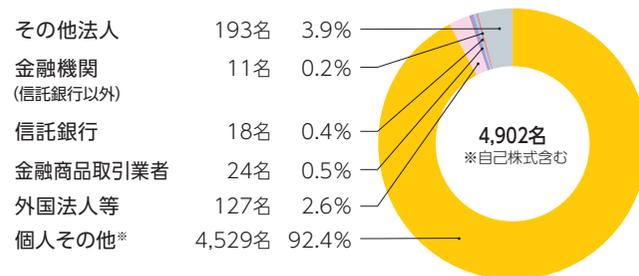
(注1)出資比率は、9月30日時点での自己株式(611,368株)を控除して記載しております。また、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

(注2)当社は平成27年11月2日に1,366,000株の自己株式の取得を行いました。

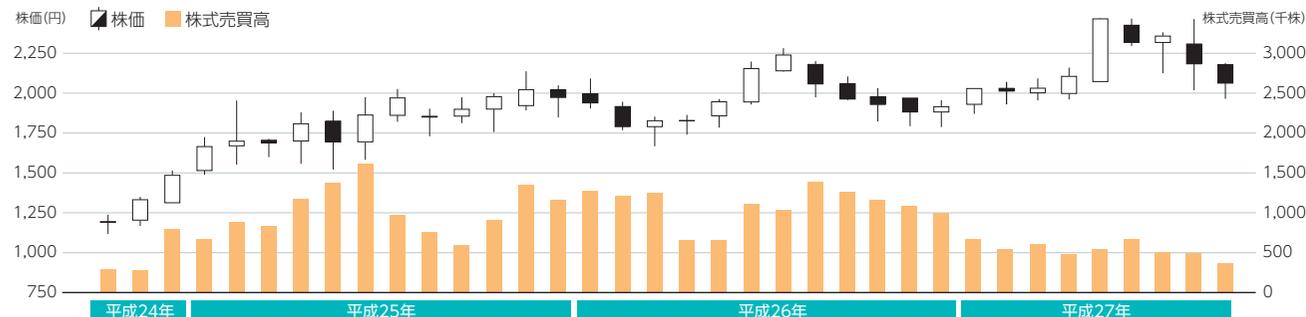
### 所有者別株式数の分布状況



### 所有者別株主数の分布状況



## 株価および株式売買高の推移



Topics

株式会社設立90周年

## コニシのあゆみ

当社は株式会社となってから今年でちょうど90年。これまでのあゆみを年表で振り返ります。

- 1870年(明治 3年) ● 小西屋の屋号で菓種商として創業
- 1925年(大正14年) ● 株式会社設立  
株式会社小西儀助商店に改組
- 1940年(昭和15年) ● 東京支店(現東京本社)開設
- 1952年(昭和27年) ● 合成接着剤「ボンド」発売開始
- 1957年(昭和32年) ● 名古屋支店開設  
● 学校教材として発売した「ボンド 木工用」が大好評
- 1960年(昭和35年) ● 札幌出張所(現札幌支店)開設
- 1962年(昭和37年) ● 福岡出張所(現福岡支店)開設
- 1964年(昭和39年) ● 浦和工場設立
- 1971年(昭和46年) ● 家庭用に国内初瞬間接着剤「ボンド アロンアルファ」発売
- 1973年(昭和48年) ● 滋賀工場設立
- 1976年(昭和51年) ● コニシ株式会社に社名変更
- 1981年(昭和56年) ● 大阪研究所開設  
● 浦和研究所開設
- 1986年(昭和61年) ● 栃木工場設立
- 1994年(平成 6年) ● 大阪証券取引所第二部 上場
- 1995年(平成 7年) ● 阪神淡路大震災発生  
復旧工事に当社製品が使われ、復興の一翼を担う
- 1997年(平成 9年) ● 東京証券取引所、大阪証券取引所第一部 上場
- 2001年(平成13年) ● 旧小西家住宅が重要文化財に指定される
- 2005年(平成17年) ● 東京支店を東京本社と改称し、大阪本社との両本社制を採用
- 2010年(平成22年) ● 基礎研究所開設
- 2012年(平成24年) ● 栃木物流センター開設
- 2014年(平成26年) ● 滋賀物流センター開設
- 2015年(平成27年) ● 株式会社設立90周年

## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主  
確定日 3月31日

中間配当金受領株主  
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL  
<http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811  
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 TEL 03(5259)5711

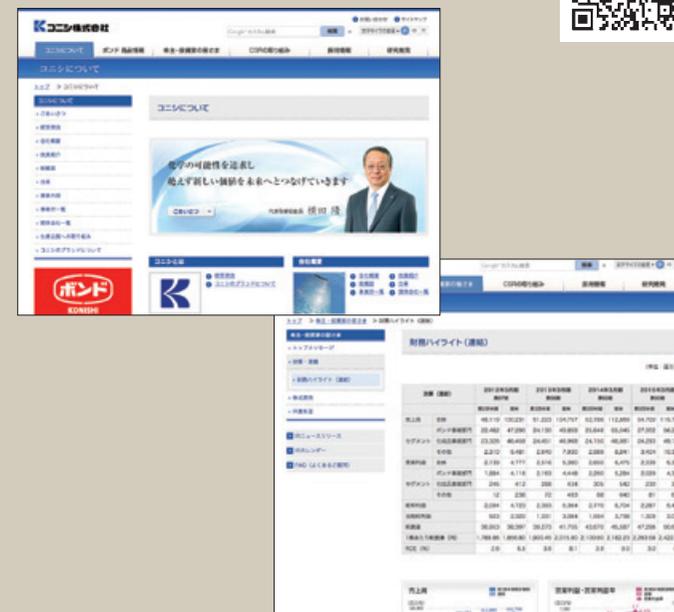
## ホームページ紹介

WEB SITE

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

アドレス

<http://www.bond.co.jp/ir/index.html>



見やすいユニバーサル  
デザインフォントを  
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮したFSCの  
認証紙と水なし印刷方式を採用し  
ています。